



新和会
やまね 山根 信行
のぶゆき

学校教育について

問 協働で取り組む計画事項を市民にPRする必要性はどのように考えていますか。

答 学校では、家庭、地域との協力により子どもたちの「生きる力」を育むため様々な教育活動に取り組んでおり、教育委員会においても教育施策のキーワードでもある「協働」について市民の方々にご理解とご協力を求めてきました。今後も引き続き「協働による教育」の趣旨を市民の方々に理解していただくようPRに努めます。



問 学校週5日制についてメリット・デメリットをどのように把握していますか。

答 土曜日を、地域での様々な活動の機会を活用し、自らを高め、有意義に過ごせていない子どもたちもいます。「社会全体で子どもたちの生きる力を

ぐくむ」という学校週5日制の基本理念を踏まえ、外部人材の活用など、メリットを生かしながら、土曜事業の実施に向け、具体的な検討を行います。

スポーツの推進と健康づくりについて

問 市民の「健康寿命」を高めるための届くところに健康器具の設置を考えてはどうですか。

答 健康器具は、気軽に健康づくりができることから、多くの皆様にご活用いただいています。今後も子どもから高齢者まで幅広い市民の利用に適した健康器具等の設置を順次進めていきたいと思えます。

おのみち健康スポーツ都市宣言については将来的に検討していきたいと考えています。

クロスロードみつぎの利用促進について

問 クロスロードみつぎ整備の構想、施行時期はどのように考えていますか。

答 広島県観光ロード推進事業に基づき、修景を整備し、道の駅への誘導を図るため周辺へプラントを設置します。尾道しまなみ商工会を中心とする委員会で検討された道の駅の機能強化、地域拠点の活性化策については、その整備の可能性を含め、早めに結論を出したいと考えています。



市民連合
むらかみ 村上 弘二
こうじ

財源不足や起債残高のピーク時について

問 平成25年度の財政運営見通しは、36億円の財源不足が言われています。その中に、市の庁舎整備や、クリーンセンター改修の費用が含まれていません。財源不足や起債残高などピークになるのは、何年ごろになりますか。

答 平成26年度に新市建設計画を見直しますが、庁舎整備やクリーンセンターの改修などにより、平成32年度が起債のピークとなる予想です。財源不足の主な要因は、市税、交付税の減少です。

自主防災組織の取り組みについて

問 広島県、尾道市の自主防災組織率をお示しください。また、緊急時の危機管理に最大の効果を発揮する、自主防災の組織作りの取り組みとして、今年度、「自主防災組織育成支援事業補助金」を創設しましたが、その内容をお示しください。

答 広島県約83%、尾道市は約47%です。自主防災組織への支

援育成のための「自主防災組織育成支援事業補助金」は、ヘルメットやトランシーバー、拡声器などの整備に対する補助を行うもので、現在5団体が活用しています。



「防災の日」の訓練状況
(因島中庄町西浦地区)

ごみ収集対策について

問 ごみ集積場所の設置要請への対応は、どのようにしていますか。また、高台や狭隘な居住区に住む高齢者が、長距離を歩かなくていい収集方法の考えをお聞かせください。

答 ごみステーションの設置は、要望に対して概ね20から30世帯に1箇所対応しています。地域事情を勘案して、チャイム収集や荷担ぎ収集など行っています。ステーションへの排出が困難な地域は、他の制度による支援策の利用や、市民協働による支援をお願したいと考えていますが、ステーション方式による収集を基本に、対応策を調査研究していきます。



新風クラブ
かなやま よしたか
金山 吉隆

夜間救急診療所の建設について

問 なぜプレハブなのですか。

この運用で望ましいと確信があれば、本格的な構造物をつくれればいいのではないですか。とりあえずプレハブでもという考えなら見直しまでの間、市民病院の診療所を使用していればいいのではないですか。8000万円という金額は、平成24年度市民1人当たりの市民税額4万3900円で言えば、ほぼ2000人の市民の納税額に該当します。

答 研修医の減少により、市民病院内科系勤務医の診療所勤務回数が増加しており、その状況を踏まえ、夜間救急診療所のあり方について、地域の医療関係機関と検討・協議を重ねてきました。

勤務医の疲弊の根本原因として、夜間救急診療所が市民病院に併設されていることから、入院患者の急変や二次救急医療に備える宿直業務と翌朝7時までの一次救急診療業務を兼務していることが指摘され、このことが解消されない限り、現体制を守ることはできないと判断しました。

平成25年1月には関係団体より、尾道地域のすべての医師によって夜間救急診療所を支えていくべきとの趣旨から、診療時間の短縮と市民病院の外に移設すべきとの要望をいただいています。その後の協議で、診療時間を23時までに短縮すること、可能な限り早期に夜間救急診療所を移設すること、移設後の夜間救急診療所については、診療所機能に加えて地域医療の維持向上や、超高齢化社会に対応するための機能を備えたものとすることが望ましいとの意見集約がされたことから、本格的な夜間救急診療所設置までの間の仮設の診療所設置についてお願いするものです。

問 要との声もあるようですが、その「街なか」とは旧尾道市のことでしょうか。瀬戸田、因島、御調まで含んでいるのでしょうか。

夜間救急診療所が街なかに必要との声もあるようですが、その「街なか」とは旧尾道市のことでしょうか。瀬戸田、因島、御調まで含んでいるのでしょうか。

答 診療所の建設場所は、二次救急病院の所在地や市内全域からの交通の便を考慮し、総合福祉センター敷地内に決定しました。



誠友会
こうもと くんじ
高本 訓司

「瀬戸内しまのわ2014」の進捗状況について

問 広島・愛媛両県の島を中心に開催される「瀬戸内しまのわ2014」の開催まで4カ月程となりましたが、進捗状況はどのようになっていますか。

ホームページやフェイスブック等による情報発信を図っており、メインイベントにつきましては、春の「しまなみサイクリストウィーク」、夏の「瀬戸内水軍まつりin尾道」、秋の「島フェスタin尾道」を計画しております。

答 また、しまなみ海道を使った大規模な国際サイクリング大会の開催に向けた協議も行っております。本年度サンセットビーチ及び県営上屋2号のリニューアルを進めております。

また、しまなみ海道を使った大規模な国際サイクリング大会の開催に向けた協議も行っております。本年度サンセットビーチ及び県営上屋2号のリニューアルを進めております。

本市の造船業界の受注状況と支援策について

問 安倍政権となり経済状況も変化しましたが、本市の造船業界の受注状況と支援策についてどのようになっていますか。

安倍政権となり経済状況も変化しましたが、本市の造船業界の受注状況と支援策についてどのようになっていますか。

答 アベノミクス効果により、円高修正がなされ、外航船を建造する市内造船会社においては、2015年半ばあるいは2017年中の工事量を確保されたと伺っております。船用関連会社では、仕事量の低迷により厳しい環境にあります。支援策につきましては、因島技術センターへの補助金を200万円増額し、820万円としております。また、金融支援として市の制度融資利用者の貸し出し利率の0.2%引き下げや、信用保証料の金額補助制度の継続を行っております。新規創業者への利子補給制度も創設しております。

特色ある国際交流活動について

問 「キューバの花咲翁さん」とまで言われた生口島出身の竹内憲治氏の功績の掘り起こしと、キューバと交流活動を進めてはどうですか。

竹内氏のように、海外で活躍された本市ゆかりの方を掘り起こし、紹介していくことは、本市の歴史を振り返り未来を築いていくうえで大切なことです。先人達の功績を手掛かりにした新しい国際交流の手法については、今後研究してまいります。



日本共産党
寺本 真一

国保料の値上げ必要なかった

問 昨年度「財源が足りないから」と加入者1人1万円、13・1%

も値上げした国民健康保険事業特別会計は、決算見込で、8億円も予算が「浮き」ました。値上げしなくてもやっていけたのではないですか。

答 結果的に見て、値上げしなくてよかったですと言われれば、そう言わざるを得ません。

夜間救急診療所の移転大丈夫か

問 市民病院医師の過重負担を解消するとして夜間救急診療所を「オール尾道」で支えるために移転し、診療時間も夜3時間に短縮する計画ですが、①スタッフを確保できますか。

②必要な場合、他の医療機関との連携は遅滞なく行われますか。③「お手伝い意識」を払拭するために「オール尾道で」なら、財政の丸抱えもやめるべきではないですか。会計はどうなりますか。

答 ①議会で承認後関係機関と協議します。②軽症患者だけ受け

入れます。救急車を利用する患者は直接二次医療機関に搬送されます。③当面現行どおり特別会計を考えています。

県内最大の給与削減を改め市幹部や元部長の特別扱い止めよ

問 職員給与は2009年から3年連続で削減され、今年も国が削減方針を地方に押し付けました。①

県内市の削減率を大きい自治体から順に示してください。②せめて県平均以下に改めようですか。それに代わって、③市三役の退職金の特別扱いと④市元部長が駅前都市開発(株)の社長に就任し、「週一程度」の勤務で月10万円受け取っている特別扱いをやるべきではないですか。

答 ①高い順に尾道市7・67%、広島市6・2%、三原市5・66%、東広島市5・27%、福山市4・86%、呉市3・0%、府中市は給与削減は実施されないと聞いています。②必要な措置をお願いしました。③特別職の退職手当ては、一般職と性質を異にしています。④同社に6月議会の決議内容を伝えました。取締役会で現体制を継続することとした。



公明党
福原 謙二

優待乗車証交付事業・地域集会施設リフォーム事業の見直し改善について

問 優待乗車証交付事業・地域集会施設リフォーム事業はより使いやすくすることが必要です。優待

乗車証交付事業では1万円分を二つの区分で選べるようにし、地域集会施設のリフォーム事業も1回利用ではなく200万円の予算内であれば複数年度の利用にするなど、両事業を見直す考えはありませんか。

答 ご意見を聴きながら市民の方が利用しやすいように見直しを行ってきました。ご提案の内容については、市民要望も受けておりますので来年度に向けて検討したいと思えます。

庁舎整備・周辺エリア構想について

問 市庁舎は、耐震診断結果において、大地震により倒壊、又は崩壊の危険性が高いとされています。多額の予算が必要となり合併特例債での整備事業になりますが、現在庁舎を

中心とした、エリア構想は考えていますか。

答 各種行政サービスの提供や防災機能を有する本庁舎とその関連施設については、分散でなく、集約された形で整備されるのが望ましいと考えています。庁舎整備を機として周辺施設をエリアと捉え検討することは、非常に重要であり、本庁舎整備の検討に当たっては、十分に念頭に置いて進めていきます。

マイナンバー制度について

問 平成28年1月から番号の利用が開始予定のマイナンバー制度は、氏名、住所、生年月日、所得、納税実績、社会保障に関する個人情報

一つの番号で二元管理する「共通番号制度」です。導入に向けたスケジュールはどのようになっていますか。

答 マイナンバー制度のメリット・デメリットをどのように考えていますか。

平成27年10月までに既存住民システムに税関連システム・福祉関連システムとの改修を予定しています。メリットは公共サービスの手続きが簡素化され、行政サービスの向上が期待できることなどです。デメリットは、導入に多額の初期費用が発生することです。



Withおのみちの声
うねもと しげる
宇根本 茂

平成26年開催の「瀬戸内しまのわ2014」について

進捗状況はどうですか。

問

答

9月中旬に日程、会場、内容など大枠を決定する予定です。

問

開催にあたりどのようなインフラを残すのですか。

答

地域住民が主体の観光プログラムや地域の宝の発掘やブラッシュアップによって、将来に残るイベントが醸成されることを期待しています。

サンセットビーチや県営上屋2号のリニューアルを行っており、関連するイベントの開催に合うように整備を進めています。

「おのみち物産館」を都心部に引っ越し、「東京事務所を併設する」案について

問

東京事務所の費用を物産館の運営費用に運用し、尾道物産館内に東京事務所を設けてはどうですか。

答

昨年12月から本年8月までの9か月で574人の利用があり、活動状況は市内の企業や地元中学生の東京での物産イベントの支援、尾道サポーターの会の交流会や講演会などを行っています。また、尾道市立大学生への就職支援、市内企業の首都圏での活動支援や産業支援のためのネットワークの構築など、設置目的に沿って有効に活用できるようにこれからも努めていきます。

物産販売などは広島ブランドショップ「TAU」をご活用ください。

東京事務所のあり方は今後も検討してまいります。

市庁舎等整備検討業務について

問

市庁舎整備に向けての今後のタイムスケジュールをお示しください。

答

庁舎整備に向けた今後のスケジュールは本年11月を目前に、庁舎整備検討委員会に整備の方向性を検討いただき、年度内には基本構想の策定を行いたいと考えています。平成26年9月の市議会での計画変更について提案し、合併特例債の活用期限の平成32年度末までに、整備事業を完成させる必要があります。



尾道クラブ
にった けんじ
新田 賢慈

暑い夏の対策について

市役所へ来られる人のために市役所内の温度を少し下げる必要があると思いますがどうですか。

問

答

今年の夏は猛暑であったことやOA機器等の増加に伴う放熱量が増加し、冷房設備をフル稼働しても本庁舎の温度を28度以下に保てない場合があります。

冷房設備の老朽化が進み能力が不足しており、抜本的に設備の更新が必要です。

おのみちバスについて

問

おのみちバスに高齢者のニーズに対応したバスサービスの向上と高齢者に配慮したバス時間帯を作るよう要請していますか。

答

人口減少や少子化による利用者の減少などにより、路線を維持していくことが大変厳しい状況ですが、効率性ときめ細やかなサービスの提供とのバランスを見極めながら運行ダイヤを編成しておられます。また、高齢者に限らず利用者からの要望は速やかに連絡を取り、検討していただくよう要請しています。

問

瀬戸田南生口地区バス待合所を設置されますが、原、洲江、垂水地区へはいつごろ設置されますか。

答

用地確保や地元調整、法令上の制限など多くの課題がありますので、南生口地区の進捗状況を参考にしながら慎重に検討をしていきたいと思えます。



若年層の雇用対策について

問

若年層の雇用対策について、教育訓練と資格取得、企業への雇用依頼の取り組みをしていますか。

答

国において、すべての求職者を対象に、「公共職業訓練」や「求職者支援訓練」が実施されており、一日若者しごと館などにおいて、これらの訓練メニューの情報提供を行っております。また、企業への雇用依頼の取り組みは市内企業への雇用促進のため、企業合同説明会や高校生を対象とした事業所説明会を開催しており、参加企業募集の案内文書にて雇用拡大についてもあわせて依頼をしています。